

H20.2.7 上毛17



チーム医療推進を

群大保健学科

前橋で
シンポ

100人が先進例学ぶ

4/7

群馬大医学部保健学科は、前橋市内のホテルで、チーム医療教育を考えるシンポジウムを開き、県内外から百人の医療関係者や学生が参加し、同大を含めた全国六大学の先進事例を学んだ。

同学科は九年前からチーム医療教育を積極的に推進しており、取り組みは本年度から文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に認定。シンポジウムはチーム医療教育に取り組む大学間のネットワーク化を図ろうと実施した。

このキーワード。医療人としてチーム医療を考える契機にしてほしい」とあいさつ。続いて同大の渡辺秀臣教授が、異なる専攻の学生がグループを作り、外部の病院で実習を行う同学科のプログラムを紹介。実際に体験した学生たちが、学んだことを発表し「専門家同士の意見交換によって患者に多

面的アプローチができていた」などの感想を披露した。ほかにも他大学の事例紹介、パネルディスカッションも行われた。

チーム医療実習で学んだことを発表する学生たち（右奥）

方チーム医療は現代医療の要として治療に当たる。

開会にあたり、同大の高田邦昭医学部長が「チーム医療は現代医療の要

として治療に当たる。